



自己紹介



生まれも育ちも函館です。実は、このまちを好きになったのは、民泊を始めてからなんです。たくさんのお客様から「函館はとってもいいところだね」「街並みが素敵だね」などと言っただけです。「えっ！そうなの？」と思って、一緒に函館めぐりや食事をしながら、地元の魅力に気付かせてもらいました。また、ずっと函館に住んでいるのに、最初は地域の歴史や文化を質問されても答えられなくて、これではいけないと思って勉強し始めました。自分で調べたり、観光ボランティアガイドに所属し、先輩の皆さんに地域のことをいろいろ教わっているところです。

民泊を始めたきっかけ

以前は、夫婦で飲食店をやっていたのですが、違う仕事をしてみたいと思っていたところ、知人から民泊を紹介されました。いざ始めてみると、お客様から「楽しかった」「うれしい」「ありがとう」などとたくさん感謝されるのが新鮮で、素敵な仕事だなと思っています。

民泊を始めて生活も一変しましたし、自分自身の考え方も変わりました。最初は外国からのお客様を受け入れられるか不安でしたが、国とか肌の色とか関係なく、言葉が通じなくても、楽しいと感じることは同じなんだと気付きました。リピートしてくれたお客様にはよく「1回目はゲスト、2回目は友達、3回目は家族だよ」と気持ちを伝えています。



民泊をやってみて…

民泊を始めるにあたっては、ご近所の皆様への丁寧な説明などに努めました。お客様を見かけたご近所の方がハローと声をかけてくれたり、道に迷った方を連れてきてくれたこともあり、少しずつ信頼を築けたのかなと思っています。民泊は、周囲に隠してやっていたらダメですね。日本とは習慣や感覚が違う国の方を相手にして、言葉の壁もあるので、ホストの顔が見えるということが地域の皆様の安心につながると思います。

函館のおすすめを一緒に楽しんだりしてお客様とふれ合えることは、民泊ならではの魅力です。また、民泊事業者同士の横のつながりをつくり、函館の観光を盛り上げる仲間を増やしたいと思い、函館観光・民泊推進協会を設立しました。同じ思いの仲間に出会えましたし、民泊を知らなかった方々にも存在を認識していただけたのではと思っています。

うちのお客様は、初めて函館に来る方が多いのですが、ぜひ函館のリピーターになってほしいと思いながら、おもてなしをさせていただいています。自分が旅行する立場だったら、また来たいと思うのは、笑顔と思いやりでもてなしてくれる人に出会えた場所。リピートしたくなる観光地には、そういう「人」を育てることが大事だと考えています。ですから、お客様に接するときは「私の対応が函館の印象を左右するんだ」といつも意識しています。



函館山の夜景、教会群、イベントなど  
やはり人気なのは、函館山の夜景と、歴史を感じられる街並み。たくさんのお客様をご案内し、とても喜んでいただいています。

コンサートやマラソン大会のために来たという方もいらっしゃいます。港まつりや花火大会をご案内したり、自分が気に入っているご近所の飲食店で一緒に食事を楽しむこともあります。お店の方にも喜んでいただけます。

事前にたくさん調べて、回りきれないほどの過密スケジュールを立てて来る方もいらっしゃいます。



今後は…

まだ、1～2泊のお客様が多いので、もう少し長く滞在していただけたらなと思っています。有名スポット以外にも訪れたり、地元の人のお話を聞いたりして、北海道の入口として発展してきた函館のことをたくさん知ってほしいです。

そのためにも、もっと地域のいろいろな方々とコラボして、楽しいことをいろいろやっていきたいと考えています。

昨年10月には、子どもたちのハロウィンパーティーに協力させていただきました。もともと函館では、七夕に子どもがお菓子をもらって歩く習慣があります。パーティーに参加した子どもたちが仮装してお菓子をもらっていると、ご近所の方が「七夕みたいでいいね」と言っていて、地域と心が繋がったなと感じました。その後は、大人向けにバーでのイベントもあり、新聞にも取り上げていただきました。地域におけるパイプ役になれたらいいなと考えていて、これから郷土料理などの体験メニューにもチャレンジする予定です。

最近、長年函館で暮らしている方から、昔の函館のお話をうかがう機会がありました。昔からあるお店などを見ると、なつかしい思い出がよみがえりますよね。いろいろな方々と協力しながら函館の歴史を残し、民泊を活用して古きよき街並みを楽しめるようになったら素敵だなと思います。

